

令和6年度事業計画

新型コロナウイルスの影響が薄まり、経済活動はコロナ禍前の水準に戻そうと動き出しました。社会全体での人手不足、70歳までの雇用の努力義務、物価高騰が進みセンターを取り巻く環境は難しい状況が続いています。今年度にはフリーランス法施行など雇用環境の改善に国が動く一方、当センターでは会員減少下でも業務増加傾向にあり、さらなる契約単価の引上げ交渉を進めています。一方では、事故件数が増えており、昨年12月末現在では就業者や就業者途上の事故が28件ありました。特に自転車事故が増加しているため、交通安全の法令順守とともに、ヘルメットの着用を推奨し、事故ゼロを目指します。

都内のシルバー人材センターの会員数は昨年の11月末時点では約8万2千人となっています。65歳以上の高齢者が増えている中、会員数の伸び悩みが続いています。しかし、より就業意欲が高い70歳以下の高齢者に選ばれるよう魅力あるセンターとして情報を発信し、入会促進を図るとともに、就業機会拡大のため企業等を訪問し、就業に繋がるよう働きかけていきます。同時に接遇や新たに仕事別の研修を行い発注者や区民からの意見・要望に応えられる組織にするため、より一層努力をしていきます。

令和6年度は昨年度に引き続き、会員数を3,400名、事業実績は13億6千5百万円余を目標としました。役職員とともに、未来に躍動する組織として多くの高齢者の可能性・好奇心を支援していきます。

さらに令和6年度は、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、『より』安定した魅力のある組織を目指して、『より』地域社会から信頼され、親しまれるセンターとして各種事業を実施します。

<今年度末の実績目標>

会員数 3,400名 契約金額 13億6,524万2,000円

以下、当センターの本年度の基本方針及び事業実施計画を定め、足立区をはじめ、関係機関の協力を得て実施します。

1. 基本方針

- (1) 会員の就業機会を確保するとともに、広くセンターの普及と情報発信に努める。
- (2) 就業に必要な知識、技能の付与等を図るための講習等を実施する。
- (3) 社会奉仕活動等を通じ、生きがいの充実と地域貢献活動の推進に努める。
- (4) 事業所等に対して高齢者就業に関する調査研究を行う。
- (5) 会員及び高年齢者の就業に関する相談等を実施する。
- (6) 支所等組織活動の充実と自主的・自立的運営を推進する。
- (7) 会員の安全就業への啓発、事故防止の強化を図る。
- (8) その他センターの目的を達成するために必要な事業を実施する。

2. 事業実施計画

(1) 就業機会の確保・開拓及び適正就業の推進

会員に適した就業機会を確保するため、公共団体、民間事業所等に対し高齢者の就業に関して理解と協力を求めていくとともに、就業開拓員が民間事業所を訪問し、新たな就業開拓と追加の受注の拡大を推進する。また、会員のワークシェアリングやローテーション就業について理解を深めさせ、未就業者を減らし、適正就業を推進する。

区 分	説 明	実施回数	
開 拓	就業機会の創出	職員と開拓員が共同し、公共・民間事業所等の需要調査を実施したうえで現地訪問による就業機会の創出につなげる。	随 時
	ホームページへの掲載	当センターのPRのためホームページに事業活動を掲載する。	随 時
	チラシ等の配布	PR用チラシを作成し、民間事業所、一般家庭及び関係機関等に配布・設置するなど就業開拓を行う。	随 時
職 群 班	自主的な活動を推進するため、担当理事やグループリーダーが中心となって職群班体制の整備を図る。また、受注件数や契約額の増加に対応するため各職群班・グループ班では積極的に新規メンバーの勧誘を行い、それぞれの班の増強を図る。		
提 供 等	会員の平均年齢が上昇傾向にある中で、無理なく安全に働けるようワークシェアリングやローテーション就業について各支所等と連携を密にし、未就業者の減少と実就業者数の増加を図る。適正就業の推進では、各支所で長期就業者の是正と就業期限一期末が到来する会員に対し就業延長確認と面談を実施し、加齢に応じて無理なく働けるよう取り組む。		

(2) 普及啓発及び情報発信

シルバー人材センター事業の理解と協力を得るために、足立区関係各所、区内の一般家庭、企業等を中心に幅広くPRする。当センターの普及啓発活動等については、ホームページやトキメキ他各種広告媒体を活用しイメージを高め、新規入会者の獲得と受注件数の増加につながる情報を積極的に発信する。

区 分	活 動 内 容	実施回数
広報紙の発行	広報紙「いちょうぴあ」をホームページに掲載し、区民等にセンターの事業活動を広く周知する。新年特集号は、広く区施設・町会自治会及び民間の発注者等へ幅広く配布する。	年12回
周知啓発	入会促進として、就業における活躍を公社ニュース「トキメキ」に就業紹介記事を掲載、当センターホームページ、センターパンフレットの折込及び会員によるチラシの配布等で新規会員募集等を行う。また、他団体と連携し、ポスター掲示ほか、センターの事業案内や出張相談や出張説明会等のPR活動を行う。	随 時

広域広報活動	東京しごと財団(東京都シルバー人材センター連合)により、都内全域に広報活動を行う。	随 時
バス・駅看板 広告掲載	新規入会者募集等PRのため区内のバスの一部や竹ノ塚・西新井・北千住の各駅に看板広告の掲出を行う。	常 時
催しへの参加	足立区のイベントである区民まつり、光の祭典、大学と地域団体の提携するはなはた文教マルシェ等に参加し、新規入会者募集等のPRグッズの配布を行い、センターの認知度・理解度のアップを図り、会員数の増加や受注件数の増加に資する。	随 時
関係団体からの 情報収集	足立区、東京しごと財団、ハローワーク等と連携を密にし、高齢者の就業動向等に関する情報収集を行う。また、全国シルバー人材センター事業協会等からの労働者派遣事業等についての情報の収集を行う。	随 時

(3) 研修・講習会等の実施

発注者の多様なニーズにきめ細かに対応し、適正な就業を実践するため会員に必要な知識の習得や技能を付与しスキルアップを図る。

区 分		研 修 内 容	実施回数
独 自 研 修	就業事前研修	就業前に必要な知識等の取得研修	随 時
	理事・監事研修	組織運営に資するための研修	年1回
	支所委員研修	シルバー事業に関する知識の習得のための研修	年1回
	協力員研修	〃	年1回
	危機管理・接遇研修	全会員を対象とした危機管理・接遇研修	年12回
	職域別研修	家事援助サービスグループ等職群班内における知識習得及び技能向上に資する研修等	随 時
	技能修得講習	植木枝切り、草取り、家事援助、マンション清掃等職種の知識及び技能向上のための講習	随 時
	新会員研修	新会員にセンターの理念や適正な就業の条件等実践での仕事の進め方等を説明すると同時に、会員としての心構えを修得するための研修	毎月1回
ブロック合同研修	第一ブロック合同で地域役員等及び安全に関する研修への参加	年3回	
各種研修・講習会等への 参加	東京しごと財団等で行う技能等研修・ICT 関係研修・安全講習等への参加	随 時	

(4) 社会奉仕活動

街路美化活動、住区センター、公園、歩道の植込み等の清掃ボランティア等の社会奉仕活動のほか、地域福祉活動、地域貢献活動を積極的に行う。

(5) 調査研究

就業状況を理事会や委員会で分析のうえ、契約の総量を増やすため、顧客満足度向上と就業機会の拡大のため事業所等を訪問し、シルバー人材センターに対する意識やお客様満足度調査を行う。その他、事業をより安定的に展開していくため、都内及び都外のシルバー人材センターの情報収集や意見交換を行う。

(6) 就業相談

就業に関する相談やセンターへの入会について希望する区内在住の高齢者に対して事務局では常時、住区センター等出張入会相談会にて相談業務を実施する。また、各支所において年に1回、同様の相談を受け付けるとともに会員に対しても就業等に関する相談を行う。

区 分	所 在 地	区 分	所 在 地
事務局	西保木間 1-8-2 西保木間複合施設 2 階	西部支所	関原 2-16-8
千住支所	千住中居町 10-10 千住西複合施設 1 階	南部支所	東綾瀬 1-28-7 東綾瀬住区センター内
東部支所	保塚町 7-16 保塚地域学習センター内	北部支所	西保木間 1-8-2 西保木間複合施設 1 階

(7) 組織活動の充実

「自主・自立、共働・共助」のセンター基本理念を軸とした支所体制の整備と強化のため、会員による積極的な事業運営の参画を促す。また、支所会議・区域会議等各種会議体を効率的かつ活発に開催し、会員相互の連携を図る。

区 分	活 動 内 容	実施回数
定時総会の開催	決算の承認等センターの事業運営に関する事項を議決する。また、監査報告・事業報告等を行う。	年 1 回
理事会の開催	センター事業の企画運営に必要な事項等を検討し、円滑な組織運営に取り組む。事業計画及び予算の承認等を行う。	月 1 回
委員会の開催	要綱に基づき理事会の諮問機関として、安全管理・会員増強・就業開拓・適正就業の課題を検討する。	随 時

地域・区域活動の充実及び支所機能の強化	地区ごとの全体会（各年1回）及び区域会議（1回以上）のほか、会員同士の情報交換や仲間づくりを目的とした自主的な活動として、女子会等の開催を推進する。事務局と各支所を中心に毎月の支所会議（毎月1回）で会員の就業情報等について連携を密にし、支所機能の充実を図る。	常時
職群班体制の整備	職群班の課題改善を図るため外部講師の派遣や各職群班会議・研修を実施し、班全体の資質向上を図る。	随時
ブロック連絡活動	都内第一ブロックシルバー人材センターの各会議に参加し、運営上必要な情報・意見交換等を行う。また、共同で役員等の研修を実施し、第一ブロックの他のセンターとの連携を密にし、事業運営に資する。	随時

（8）安全就業・事故防止

会員の事故を未然に防止して安全に就業することは、センター運営上の最も重要な課題である。会員の高齢化が進む現状を踏まえた計画に基づき事故防止、安全就業の徹底のため安全支援員等を中心に就業現場の巡回指導等を行う。また、猛暑対策や自転車事故防止として研修及びセンター広報紙や教材等を活用した安全意識の啓発活動を行う。

区 分	説 明	実施回数
安全管理委員会等の開催	安全対策基本計画の策定と実施に伴う検討を行う。就業中や自転車事故等就業途上の安全対策を検討し、安全就業の徹底のため改善すべき事項を全会員に周知する。	年5回
就業現場の巡回指導等	公共施設等を中心に安全支援員等が就業現場を巡回し、会員に対し事故防止のための安全情報を提供及び助言・指導を行い、安全就業基準の遵守の徹底を呼びかける。	随時
自転車安全点検	自転車を利用する会員に対し就業途上時等の事故防止のため、自転車修理経験者等により各地区で自転車安全点検の実施及び安全グッズの配付を行う。	各地区 年12回
自転車安全運転講習会	所轄警察署の協力を得て自転車安全運転講習会を実施し、交通事故を未然に防ぐため自転車の正しい乗り方・運転方法を学ぶ。また、ヘルメットの着用を推進する。	年2回
安全意識の啓発	広報紙「いちょうぴあ」を活用し、会員の安全就業基準の周知徹底を行う。また、東京しごと財団が募集する「安全標語」への応募や危険予知事例などを掲載し、傷害・賠償事故ゼロを目指し啓発を行う。	随時
安全管理講座	足立区公認スポーツ指導員によるケガ防止のための転倒予防体操を実施する。	年1回
熱中症予防講座	足立区保健師による熱中症予防対策のための講座を実施する。	年1回